

問1 本州四国連絡橋（瀬戸大橋）の開通に関連して、交通の高速化が社会にもたらした仕組みや背景について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

- フェリーによる海上輸送を完全に廃止し、すべての物流を鉄道輸送に一本化することを目的として建設された。
- 高速道路と鉄道が同じ橋を通る併用橋として整備され、人や物の移動の効率化と移動時間の短縮が図られた。
- 橋の建設に合わせて周辺の海域がすべて埋め立てられたため、四国地方の深刻な水不足が解消されるきっかけとなった。
- 瀬戸内海沿岸に新しい工業団地を造成するために、橋の橋脚を利用した大規模な水力発電所の建設が行われた。

問2 日本の工業地域の特色について述べた次の文章の空欄にあてはまる産業として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。「瀬戸内工業地域の2021年における製造品出荷額等の構成をみると、全国平均では14.4%である産業の割合が、この地域では約20.5%に達しており、中京工業地帯の10.3%などと比較しても非常に高い割合を占めている。この産業は、倉敷市の水島地区などに形成されたコンビナートを中心に発展してきた。」（2025年 宮城県公立入試 類似）

- 化学工業
- 機械工業
- 金属工業
- 食品工業

問3 1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の交通手段の変化をまとめた統計において、かつて主要な移動手段であった船舶の利用割合が激減し、代わって自動車の利用が急増して全体の過半数を占めるようになりました。このような交通の変化をもたらした最大の要因として、最も適切なものはどれですか。（2020年 鳥取公立入試 類似）

- 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと
- 四国全域を網羅する新幹線網が完成したことにより、鉄道と自動車の連携による移動が普及したこと
- 格安航空会社（LCC）の参入によって航空機の利用料金が下がり、船舶から航空機への転換が進んだこと
- 環境保護の観点から瀬戸内海での大型船舶の航行が厳しく制限され、物流の主役がトラックへ移行したこと

問4 中国・四国地方に位置し、瀬戸内海に面したある県では、児島湾などの沿岸部で大規模な「干拓」が行われ、農地が拡大されてきました。この地域に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

- もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。
- 地方中枢都市としての機能を高めるため、沿岸部の埋め立て地に多くの官公庁を移転させた。
- 波の静かな入江を利用して、カキや真珠などの大規模な養殖業を産業の中心としている。
- 山間部の急斜面を切り開いて段々畑を造り、温暖な気候を利用してミカンの栽培を行っている

問5 中国・四国地方にある県のうち、県域の北側が広く日本海に面しており、瀬戸内海には面していない県はどこですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

- 鳥取県
- 広島県
- 兵庫県
- 香川県

問6 中国地方の各県における工業の特徴を説明した次の文のうち、統計的な傾向と一致する正しい説明はどれですか。なお、統計上、山口県は化学工業の産出額が約1兆9791億円と非常に大きく、島根県は化学工業（約333億円）や輸送用機械工業（約839億円）に比べて鉄鋼業（約1675億円）の産出額が多くなっています。（2024年 三重公立入試 類似）

- 広島県は輸送用機械工業、山口県は化学工業、島根県は鉄鋼業の産出額が、それぞれの県内で主要な位置を占めている。
- 島根県は輸送用機械工業の産出額が中国地方で最も多く、広島県は化学工業が産業の中心となっている。
- 山口県は鉄鋼業の産出額が県内で最も多く、島根県は石油化学コンビナートが集中する化学工業の拠点となっている。
- 広島県、山口県、島根県の3県は、いずれも輸送用機械工業が県内産出額の第1位を占めている。

問7 四国地方に位置する4つの県のうち、県名と県庁所在地名が異なる県が2つあります。その県名と、それぞれの県庁所在地の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2019年 熊本県公立入試 類似）

- 愛媛県（松山市）と香川県（高松市）
- 徳島県（徳島市）と愛媛県（松山市）
- 香川県（高松市）と高知県（高松市）
- 愛媛県（高松市）と香川県（松山市）

答え合わせ・解説

問1	答え 2 高速道路と鉄道が同じ橋を通る併用橋として整備され、人や物の移動の効率化と移動時間の短縮が図られた。	瀬戸大橋は、上部に高速道路、下部に鉄道が通る「道路・鉄道併用橋」として建設されました。これにより、自家用車やトラックだけでなく、JRの快速列車や特急列車による迅速な移動が可能になりました。この交通インフラの整備は、本州と四国の経済的な一体化を促進する重要な背景となりました。
問2	答え 1 化学工業	2021年の統計において、瀬戸内工業地域は全国平均や他の中京・阪神といった工業地帯と比較しても、化学工業の製造品出荷額等の割合が高いことが大きな特色です。これは岡山県の倉敷市（水島）や山口県の周南市、岩国市などの沿岸部に大規模な石油コンビナートが整備されているという地域的な背景が影響しています。
問3	答え 1 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと	1988年の瀬戸大橋開通を皮切りに、神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート（しまなみ海道）といった本州四国連絡橋が次々と整備されました。これにより、それまで船舶に頼っていた本州への移動が、自家用車や高速バス、トラックなどの自動車中心へと劇的に変化しました。この変化は「陸続き」になったことによる利便性の向上を象徴しています。
問4	答え 1 もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。	岡山県の児島湾周辺などは、遠浅の海を堤防で仕切り、水を抜いて陸地にする「干拓」によって造られた土地です。干拓地はもともと海底だったため土壌に塩分を多く含んでおり、農業を行うには不向きな環境でしたが、水路の整備や排水技術の向上によって、県内を代表する農業地帯へと発展しました。
問5	答え 1 鳥取県	中国地方は中国山地を境にして、日本海側の「山陰」と瀬戸内海側の「山陽」に分けられます。広島県や兵庫県、四国地方の香川県は瀬戸内海に面していますが、鳥取県は島根県とともに山陰地方に位置し、北側は日本海に面しています。この地理的条件により、冬には北西からの季節風の影響を受けやすいという特徴があります。
問6	答え 1 広島県は輸送用機械工業、山口県は化学工業、島根県は鉄鋼業の産出額が、それぞれの県内で主要な位置を占めている。	中国地方の工業は県ごとに特色があり、広島県はマツダなどに代表される輸送用機械、瀬戸内工業地域に属する山口県は石油化学、島根県は古くからの「たたら製鉄」の流れを汲む特殊鋼などの鉄鋼業が、統計上の特徴として表れます。各県の主要産業を正しく把握することが重要です。
問7	答え 1 愛媛県（松山市）と香川県（高松市）	四国地方では、徳島県と高知県は県名と市名が一致していますが、愛媛県は松山市、香川県は高松市が県庁所在地となっており、県名とは異なります。特に「松山市」と「高松市」は名称が似ているため、どちらの県の都市であるかを正確に把握しておくことが重要です。